

第5学年 外国語活動指導案

指導者 H L T 河元 智志
A L T Matthew Savas
活動場所 2階 外国語活動室

1 単元名 Lesson 5 「いろいろな衣装を知ろう」

2 単元の目標

- ・日本と外国との衣服の違いを知り，世界の衣服に興味を持つとともに，多様な生活文化に対する関心を高める。(言語と文化)
- ・ペアまたはグループで，店員とお客に分かれて好きな衣服を買い物する場面を設定し，積極的に英語を使って買い物の疑似体験をする。(コミュニケーション)
- ・英語を使って好きな衣服を紹介する表現に慣れ親しむ。(表現)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元では，世界の衣装を紹介しながら，様々な普段着の言い方を知り，それらを買求める買い物の場面を設定して，実際に買い物をする疑似体験をさせる。

この時期の児童は，衣服などのファッションに関心が高まる時期を迎えつつあり，実際に身に付けている衣服についても，児童1人ひとりでその好き嫌いははっきりしてくる時期でもある。

そこで，自分が着てみたい衣服を発表させたり，衣服の買い物を疑似体験させたりして，それらの活動の中で自分の好き嫌いを，色やデザイン（形）を手がかりに，はっきりと言う体験をさせていく。

本単元では， Do you like～？ / Yes, I do. No, I don't. という好みを尋ねる表現と， Do you have～？ / Yes, I do. No, I don't. / here you are. という商品があるかどうかを尋ねる表現を中心に扱っていく。取り立てて扱うわけではないが，日常の生活で使われるコミュニケーション用語として Excuse me,～. や You're welcome. なども自然なやりとりの中で慣れ親しませる。

(2) 児童観

男子13名，女子4名，特別支援学級女子1名のクラスである。外国語活動の時間を楽しみにしている児童の割合が多く，明るく元気に活動することができる。昨年度までは，総合的な学習の時間の国際理解として，隔週で担任・A L TのT Tで英語活動を行ってきた。A L Tとの関係も良好で気軽に話しをする場面もみかける。

1学期は，外国語活動の先行実施にともない，英語ノートを用いて，他の国の言語や文化を理解する活動や，ねらいにせまるための様々な Activity や Chant を中心に授業実践を行ってきた。児童の中には，恥ずかしさからか交流を主体とする Activity にやや抵抗を感じている児童もみられる。そこで，本単元では担任やA L Tの話や発音をよく聞くことを活動の中心とし，自分もやってみたいという気持ちが高まるように促し，表現に慣れ親しむための Activity につなげていくこととする。

(3) 指導観

① コミュニケーション能力を育成するために

本単元では，疑似体験として買い物をする場面を設定したり，自分が買ったものを見せなが

ら友だちに紹介するショー・アンド・テルの手法を用いたりしながら、お互いの思いや好みを知るコミュニケーション活動を行っていく。

②表現力を育成するために

「衣服の種類」「色」などの英語表現を用いて、買い物の疑似体験の中で表現に慣れ親しませていく。また、Chant を繰り返し歌いながら、大きな声で楽しく表現する喜びを味わわせていく。指導者は、児童が自分の気に入った衣服を買えたことや、みんなの前で発表したことについてコメントを言い大いに褒めながら、成就感を持つことができるようにする。

③人間関係づくりのために

お客役になった児童は、自分の好みをはっきりと店員に伝えること、店員役になった児童は相手が気持ちよく買い物ができるような声かけや表情ができることを意識させる。相手がどんなものを選ぶか、どんな色を好むのかなど普段の生活ではわからない新たな気づきも生まれると考えられる。

4 指導計画・評価規準（4時間）

第1時（本時）	第2時	第3時	第4時
Let's Listen ○の中は何か考えよう	Let's Chant ♪ Do you have a Cap ? ♪		
Activity どのような服を着てみたいかな	Let's Listen お店にあるものは何かな	Activity 1 買い物をしよう	Activity 2 ショー・アンド・テル
Let's Chant ♪ Do you have a Cap ? ♪	Activity どのような服を着てみたいかな		

評価の観点	主な評価規準
外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。	世界には様々な衣服があることを知り、それらの衣装が今もその国の文化として引き継がれていることに興味を持つ。〔行動観察〕
外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。	自分の好みをはっきり相手に伝えたり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物を楽しむ。〔行動観察〕
外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。	Do you have～? と尋ねながら買い物をする活動を通して英語の表現に慣れ親しむ。〔行動観察、英語ノート〕

5 本時の活動（第3時）

- (1) 本時のねらい 店員とお客に分かれて買い物をする活動を通して、基本的な英語の表現に慣れ親しむ。
- (2) 本時の評価規準 自分の好みをはっきり相手に伝えたり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、英語で買い物を楽しんでいる。〔行動観察〕
- (3) 準備 いろいろな衣服カード（グループ分）、チャンツCD、店員用エプロン、ふりかえりカード
- (4) 展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	A L T の活動	指導上の留意点（・） 評価の観点（◎） 評価方法〔 〕	準備物等
あいさつ 5分	・あいさつをする。 Hello,I'm fine.	・全体に挨拶をする。指導者2人で児童を分担して1人1人の児童と挨拶をする。 Hello, how are you?		・1人ひとりといさつをすることにより、指導者と1対1で英語を使ったやり取りをする機会を持たせるようにする。	
復習 5分	【Let's Chant】 ♪Do you have a Cap?♪ ・チャンツを言う。	・衣服絵を見せながらチャンツを言う。 ・チャンツに合わせ、黒板に貼ってある衣服絵カードを指し示す。		・児童が言うことになれてきたら、衣服の色を変えることにより、飽きずに何度もチャンツが言えるようにする。	C D
展開1 10分	・本時の課題とゴールを知る。 ・指導者のデモンストレーションを聞く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Today's Goal Do you have~? を使って買い物をしよう。 </div> ・買い物をすることを告げ、やり方をデモンストレーションで示す。 店員：Hello. お客：Hello. Do you have yellow shoes? 店員：Yes, I do. Here you are. お客：Thank you. 店員：You're welcome. （上記のように会話を繰り返す） ・児童と一緒に練習する。		・本時のゴールを示すことで見通しをもたせる。 ・デモンストレーションを行うことで、児童にやり方を十分に理解させるようにする。	店員用エプロン
展開2 15分	・ペアになり客役、店員役を決め、Do you have~? を使って買い物をする。	・各グループを回り、買い物の様子を見て、褒めたり支援したりする。	・各グループを回り、買い物の様子を見て、褒めたり支援したりする。	◎自分の好みをはっきり相手に伝えたり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、英語で買い物を楽しんでいる。〔行動観察〕 ・話すことが苦手な児童や、会話文を忘れた児童の支援をする。	いろいろな衣服カード（グループ分）
ふりかえり 5分	・ふりかえりカードを書く。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語表現についてよかったところを言う。	・次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。	ふりかえりカード
あいさつ 5分	・あいさつをする。 Good-bye. See you.	・あいさつをする。 Good-bye. See you.	・あいさつをする。 Good-bye. See you.		